大正区ぶらっと歩く…

大阪自治体問題研究所　文化委員会

とき：2017 年 4 月 29 日（土）14 時～17 時
集合：JR 大正駅前　　参加費（資料代）1000 円
雨天順延

大正区は、川に囲まれた街・海にもつながる街です。
江戸時代の新田開拓でできました。潮の香がするといわれます。
明治 16 年（1883 年）には大阪紡績会社（現在の東洋紡）が設立され、近代工業の発展と大阪の紡績業をけん引しました。
1854 年に発生した「安政の大地震」では津波による悲惨な悲劇を生み出しました。大正駅近くにはその記石碑があります。
明治以降、紡績・造船所が相次いで建設され、港湾労働者が集まる工業地帯として発展し、全国から労働者が集まりました。中でも、沖縄からは沢山の労働者が移住され、いまでは区人口の 1/4 をしめ,大阪にエイサーや食など沖縄文化を拡げています。
昭和 3 年には大阪初の「競馬場」ができましたが、軟弱地盤のため 3 日で閉鎖されたそうです。
埋立地が危ないという貴重な経験です。
市電の走ったアーチ橋・捕虜収容所・木津川飛行場・街と街をつなぐ渡船場。渡船は今も健在です。乗ってみましょう。
大大阪の名残りの残る大正区をぶらっと歩きませんか？
「何が都構想やねん！合区やねん！」など言いながら((^^))
申込は、下記 FAX かメールでお願いします。

主催：一般社団法人　大阪自治体問題研究所
電話：06-6354-7220　FAX:06-6354-7228　e-mail:oskjichi@oskjichi.or.jp